

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 奈良市立興東中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒630 -1242
奈良市大柳生町4736番地

E-mail : koutou-j@naracity.ed.jp

Website : http://www.naracity.ed.jp/koutou-j

児童生徒数：男子 17 名 女子 17 名 合計 34 名
 児童・生徒の年齢 13 歳 ~ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

昨年、米国の教員の方々との交流の場を設けた。そこで、今年度は、米国の生徒および北海道生徒との映像での文化交流を実施した。以下がその概要である。

《米国交流校》

Nature's Way Montessori School (テネシー・中)

Francisco Middle School(サンフランシスコ・中)

北海道留寿都小学校 (4年生)

《ねらい》

- ① 交流を通じて、互いの文化を理解するとともに、郷土や日本の文化を振り返り、地域や日本人としての誇りを持たせる。
- ② ビデオ制作や交流を通して、パソコンや英語を使う楽しさを味わわせる。
- ③ 協力して仕事をすることによって、コミュニケーション力および責任感を養う。
- ④ パソコンや英語を活用して作品を完成させることで、自信を持たせ、自己肯定感を高める。

《プログラムその1》

6月、3年生が、5分程度の学校紹介映像を制作。これは、学校生活の1日の流れを映像で紹介するため、グループに分かれ、校内で写真撮影をした後、ムービーメーカーを使用し制作したものである。制作時間は3年生全員で3時間と放課後に数名で3時間を要した。

《プログラムその2》

地域や日本の文化を映像で紹介するため、全校生徒を、異年齢の3人グループ(1~3年生)を基本として11のグループに分け、それぞれのグループで3分程度の映像を制作した。

テーマは、日本の伝統文化を紹介するため、「スポーツ(柔道)」「音楽(琴)」「芸術(華道)」「芸術(陶芸)」「芸術(書道)」の5つを設け、地域を紹介するため、「奈良(東大寺・奈良公園)」「校区」の2つ、食文化を紹介するため、「奈良の食文化」「家庭料理」の2つ、日本の中学生の生活を紹介するため、「家庭生活」「中学生の趣味」の合計11テーマを設けた。

制作時期は7月~10月で、制作に8時間余りを要した。夏休み前にオリエンテーションを行い、制作活動に着手。夏休みを利用して、写真撮影を行ったグループもある。

《プログラムその3》

10月初旬、その1の取り組みである本校の学校生活紹介映像を交流校へディスクにて郵送した。その2の取り組みである文化紹介映像も11月にディスクを交流校に郵送した。なお、これらの作品は学校ホームページにも掲載している。

3学期は、互いの生徒の感想を交換したり、また、英文手紙を書き送ったりして、交流を行った。

《成果と課題》

今回の活動の成果としてあげられるのは、

- 1 生徒の情報機器活用能力が向上することで、自信がついた。
- 2 郷土への理解と愛が深まり、英語や米国に対する興味が増し、国際理解が深まった。
- 3 縦割りグループの活動により、上級生として自主的に取り組み責任感を養うことができた。
- 4 全教師も各グループに入って一緒に活動することで、問題解決学習が深まった。などである。

これらの活動はすべて、全教師が関わり全校生徒で実施したものである。本校は、小規模校の特性を活かした活動プログラムが組めることが利点である。つまり、全校が一つのクラスのように活動することも難しくはない。こうした学校全体での取り組みが、生徒間の絆を学年を超え、一層深めている。上級生が下級生のリーダーとなる場面は多いが、下級生が自分の特性を活かして活動する場面もあり、各々が各々の特性を活かして自分の責任を果たす場を得ることで、教科学習では得られない自信の獲得にもつながっている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）